

R6.12.12

関東農政局麦勉強会

# 茨城パン小麦栽培研究会の「ゆめかおり」の栽培について

茨城県県西農林事務所  
坂東地域農業改良普及センター  
松井匠

# H23年当時の麦の課題

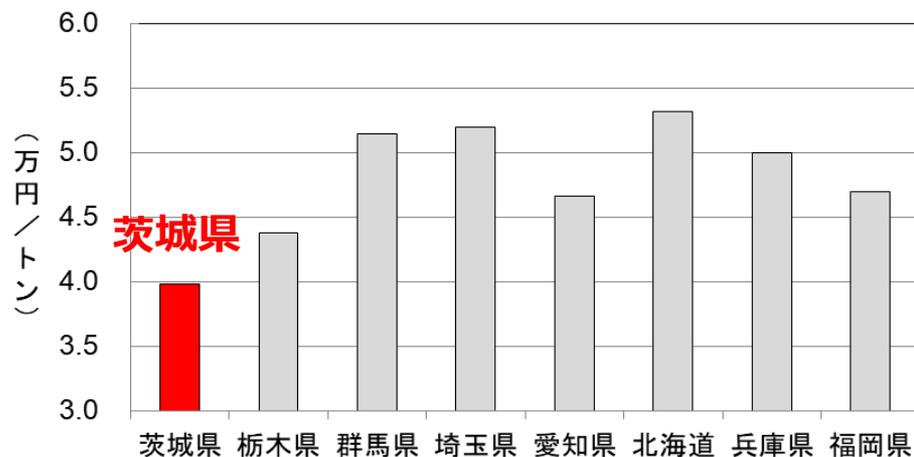
一方で

縞萎縮病の激発



→収量・品質が低下

全国最低レベルの価格



H23年産小麦指標価格 (日本めん用品種)

麦生産に投げやり感が蔓延

意識の高い生産者の存在



麦でも品質向上の努力が  
価格に反映される仕組みがほしい  
でも手段がない・・・

この先進農家の存在が  
今後の展開のカギに

# 研究会発足までの経緯

## 現地適応性の検討

先進農家に相談  
↓  
2年間の試験栽培  
→



### ■タンパク含量

**12.5~13.6%**

(県内小麦平均タンパク含量10.5%)

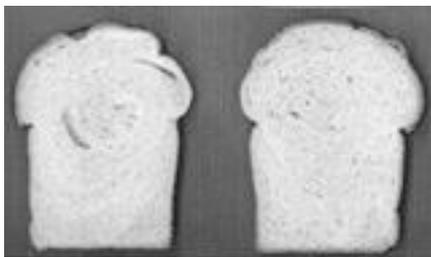
### ■収量 500kg/10a以上

(当地域の小麦平均収量350kg/10a)

## 事前マーケティング調査



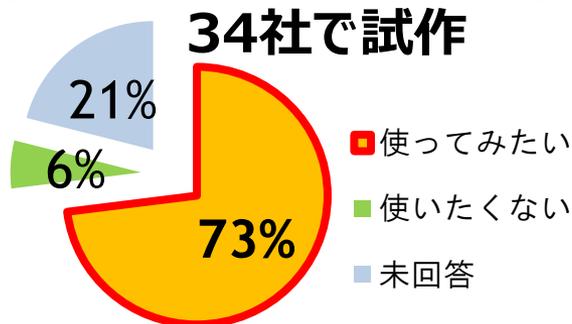
### 製粉会社の評価



「春よ恋」 「ゆめかおり」

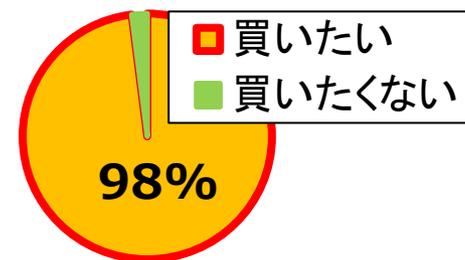


### パン屋の評価



### 消費者アンケート

1,000名



# 研究会発足までの経緯

## 努力が価格に反映される仕組みづくり

一般的な麦

検査等級(外観)で販売価格が決まる

等級重視

生産者

集荷業者  
(JAなど)

製粉会社

タンパク重視

「ゆめかおり」

タンパク含量で価格を決める

タンパク重視

生産者

タンパク質13~14%の製品供給

製粉会社

タンパク重視

地域標準品種より高単価の契約が実現！

# 茨城パン小麦栽培研究会概要

- H27年1月発足  
目標の生産量1,000t（産地としてみなされる量）をR5年産で達成

	H27年産	R6年産
栽培面積	35ha	<u>275ha</u>
生産量	180t	<u>1,238t</u>
生産者	5名	<u>22名</u>



- 出荷先  
製粉会社5社、個人パン店2店

## ■ 特徴

タンパク質13.0～14.0%を担保することで、「ゆめかおり」を高単価で販売  
実需者と直接契約し、生産から出荷まで全て生産者が実施

## ■ 受賞歴

令和元年度全国麦作共励会（集団の部）中央会会長賞



# 現在の普及センターの取組

## 定点調査の実施

各生産者代表ほ場を1枚ずつ選定、  
生育や収量を調査



生産者	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	SPAD	主稈長 (mm)	幼穂長 (mm)	ステージ	茎立ち期予測	
							平年並	+2℃
	41.7	1,071	46.8	-	4.0	節間伸長期	-	-
	19.6	503	47.6	6.1	-	幼穂形成期	3/18	3/14
	25.0	1,012	48.2	10.5	2.9	幼穂形成期	3/16	3/10
	28.6	1,031	47.4	17.6	3.0	茎立ち期	3/6	3/6
	23.1	604	51.6	17.6	2.0	茎立ち期	3/9	3/8
	26.4	985	43.2	6.6	1.8	幼穂形成期	3/20	3/18
	24.0	717	51.1	6.0	-	幼穂形成期	3/18	3/14
	13.3	1,132	53.6	2.2	-	幼穂形成期	3/29	3/24
	15.4	1,138	53.2	3.4	-	幼穂形成期	3/24	3/20
	25.9	583	49.8	8.4	2.2	幼穂形成期	3/17	3/14
	23.8	993	47.3	8.0	1.5	幼穂形成期	3/17	3/15
	21.1	1,127	47.8	7.0	-	幼穂形成期	3/20	3/17
	21.9	646	42.0	4.7	1.1	幼穂形成期	3/26	3/22
	16.6	424	51.1	2.6	0.3	幼穂形成期	4/1	3/28
	19.5	460	46.5	2.9	1.0	幼穂形成期	3/29	3/25
	19.9	869	52.1	5.2	-	幼穂形成期	3/23	3/20
	21.8	570	49.1	3.2	-	幼穂形成期	3/26	3/21
	14.5	386	48.2	1.7	0.1	幼穂形成期	4/6	4/1
	13.5	679	44.0	1.2	0.1	幼穂形成期	4/9	4/4
	21.3	775	42.9	2.8	1.1	幼穂形成期	3/30	3/26
	13.8	363	36.5	2.1	-	幼穂形成期	4/2	3/28
	10.8	263	-	-	-	-	4/11	4/6
平均	21.0	765	47.6	-	-	-	-	-
3年平均(R2~R4)	17.8	792	51.8	-	-	-	-	-

調査結果は随時  
LINEで共有

## 出穂期頃のSPAD調査

普及員がSPADを調査、それを参考に生産者が追肥を実施



高タンパクには  
追肥が必須！

# 現在の普及センターの取組

## 講習会や現地検討会の開催

講習会（10月）：当年産の振り返りと次年産の栽培について

現地検討会（3月）：今後の管理（出穂期追肥や赤かび病防除など）について



他にも支援内容は多岐にわたる・・・

なぜ研究会は成功に至ったか？

# ポイント①～高タンパクを重視した生産～

## SPAD値に応じた出穂期追肥の実施



## SPAD値と追肥量の目安

### ■ 畑の場合（10aあたり）

50以上 : 追肥なし  
45～50 : N 2kg  
40～45 : N 3～4kg  
40未満 : N 5～6kg

### ■ 水田の場合

畑ほ場の2倍量

# 栽培事例（R6年産）

■ 株式会社クローバー・ファーム（境町）  
茨城パン小麦栽培研究会会長

■ 栽培品目  
水稲41ha、大麦10ha、大豆11ha  
子実用トウモロコシ14ha

**「ゆめかおり」14ha（水田：11ha、畑3ha）**

■ 耕種概要（10aあたり）

土改剤：SBX Type-R

播種：11/20～12/9（播種量：5.5～6.0kg）

基肥：N4.0～5.4kg

麦踏：3回（12月下～2月上）

追肥①：N6.0kg（緩効性肥料）

追肥②：N3.0kg（水田のみ）

■ **収量：510kg 平均タンパク：13.6%**



根をはる約束

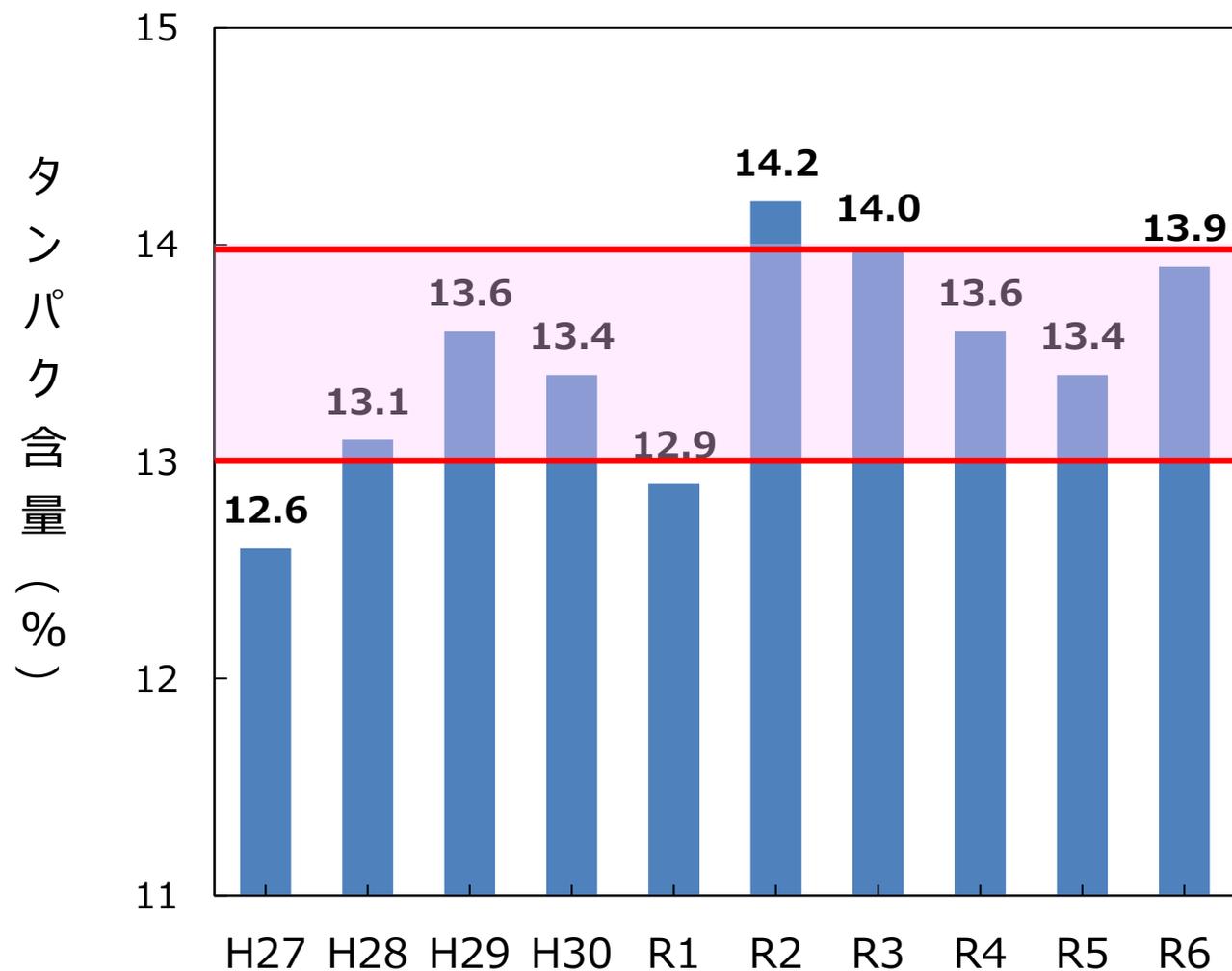
株式会社

**クローバー・ファーム**



**多収かつ高タンパクの両立は可能**

# ポイント①～高タンパクを重視した生産～



**10年中7年で基準を達成**

# ポイント②～タンパク値を揃えた出荷～

## 全ロットのタンパク含量分析



調整後乾燥機単位でサンプル採取



普及センターでタンパク分析



タンパク質別に  
フレコンを色分け管理

# ポイント②～タンパク値を揃えた出荷～

## タンパク値に応じたフレコンの組み合わせ

(例) 20tずつ出荷する場合

### ①組み合わせない場合

フレコン番号	1～10	11～20	21～30	31～40	41～50	51～60	61～70	71～80	81～90	91～100	平均
タンパク質(%)	11	11	12	12	13	13	14	14	15	15	13

11%      12%      13%      14%      15%

全体の平均タンパク質は13%だが、20t単位だとバラバラ

### ②組み合わせる場合

フレコン番号	1～10	81～90	11～20	91～100	21～30	61～70	31～40	71～80	41～50	51～60	平均
タンパク質(%)	11	15	11	15	12	14	12	14	13	13	13

13%      13%      13%      13%      13%

**タンパク質を13.0～14.0%の範囲で均一にして出荷**

# ポイント③～製品の信頼度を高める取組～

## 色彩選別機による全量調整



色選前



色選後

## ロットごとの品質分析

- タンパク含量
- 容積重
- フォーリングナンバー
- 水分
- 千粒重



## 栽培履歴の提出

圃場 番号	元肥		播種		除草剤		麦踏み		追肥		病虫害防除		刈取
		kgN		kg		農薬名	①	②		kg		農薬名	
TA-1	12/8	5.4	12/9	6	12/19	リベレーター	1/8	2/1	3/28	6	4/28	ミラビス	6/17
TA-12	11/15	5.4	11/23	5.5	11/28	リベレーター	12/21	1/11	3/17	6	4/28	ミラビス	6/15
TA-67	11/15	5.4	11/20	6	11/27	リベレーター	12/20	1/11	3/16	6	4/28	ミラビス	6/7

## 赤かび病に対する2回防除（R6年産から）

低品質小麦混入のリスク減、トレーサビリティの確保

# ポイント④～実需者・消費者に対するPR活動～

## FBで発信



## 現地交流



## 学校給食



## 食育

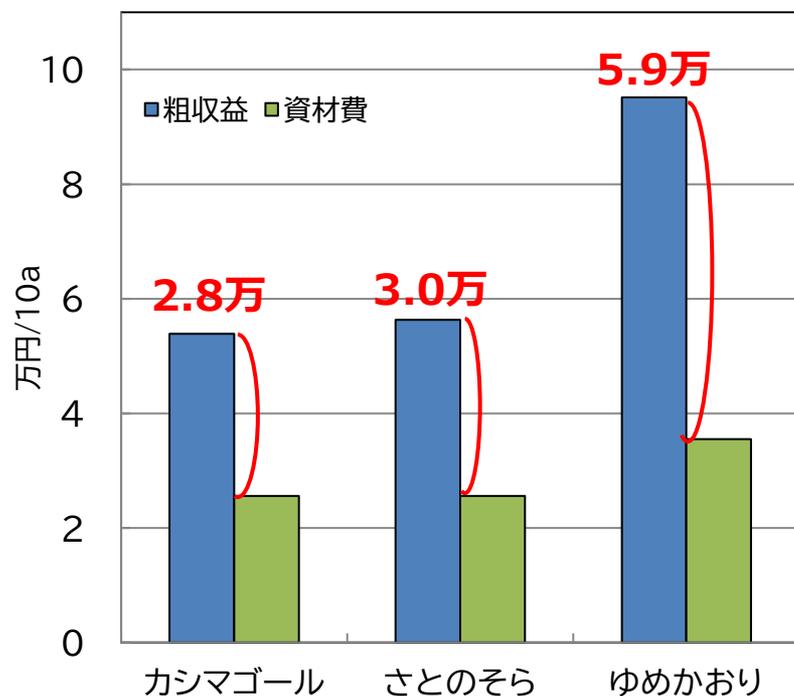


**関係者が連携したPR活動により、販路拡大**

- FacebookやHPによるPR活動
- 製パン業者を対象としたほ場見学会の開催
- 学校給食や地元パン屋への営業
- 製粉会社への営業

# ポイント⑤～「ゆめかおり」の収益性（研究会の場合）～

## 地域慣行品種よりも収入増



- 「ゆめかおり」は地域慣行品種と比較して、
- 収量性に優れる
  - 販売単価や経営所得安定対策の交付金単価が高い



**「ゆめかおり」導入で  
約3万円/10aの所得増**

経営試算の条件は以下のとおり

- ・1等Aランク
- ・販売価格はR3年産とR4年産を平均
- ・間接経費（光熱費、農機具費等）は含んでいない。

# ポイント⑥～実需者や消費者の顔が見える～

通常は、生産者と実需者等がつながることは少ない・・・

## 研究会「ゆめかおり」の場合

実需者



星野物産株式会社

学校給食



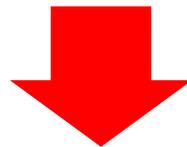
セブンイレブン



品質向上に対するモチベーションが高まる

# 今後の目標

目標であった生産量1,000 t をR5年産で達成



次の目標は生産量2,000t (プライスリーダーになれる)

出荷体制の整備



新規生産者の確保



生産者の技術格差是正



# 最後に言いたいこと

## 生産者の方々へ

まずは良いものを作ることが重要  
儲かるからという理由で手を出しては、その後につながらない

『相手が求めるものを栽培する』by 染野氏

## 行政の方々へ

行政という立場は思っている以上に相手方の信頼を得やすい  
これは生産者にはない強み

『行政の同席により、最初から信頼が得られる』by 染野氏

『第三者的立場の意見や判断が取引先への安心感に一役買っていると感じる』by 高橋氏



生産者のメッセージや現在の動きが掲載されています。  
良かったらご覧ください。



HP



Facebook

その他、何かご質問があればこちらまでお寄せください

ta-matsui@pref.ibaraki.lg.jp(私のアドレスです)